

2020年2月7日

暖冬と言われますが当日はかなり寒く、おまけに暖房のない広い体育館での準備に始まりました。

5年生3クラス、97名（当日は1名欠席）。体育館の中央にクラフト材料を並べ、その前後にそれぞれ3枚のシートを間隔をあけて敷きました。1クラス4班の12班ということで、それなりのスペースを確保できました。



10:50~12:25の限られた時間の中でアイスブレイク体操や座学（校庭の樹木の紹介と命のつながり）など、スクリーンを見ながら真剣に話を聞いてくれました。

クラフト注意事項として、「安全のための作業上の注意」「作業の進め方」の後、待ちきれなかったように一斉に作業に取り掛かりました。最初は戸惑っていた子供たちも、少しずつ形が見えてくると、もっと大きくと大作ができたり、丁寧な作品であったりと、ひとりひとりの個性が輝くような作品に仕上がっていきました。



子どもたちも、グルーガンなどネイチャークラフトになれているのか今回は一人もやけどをしたという声を聴かずに済みました。

帰りに、校長室に呼ばれ、昨年のオブジェと再会し、校長先生より、お礼の言葉をいただきました。

スタッフ：出口、佐伯、千種、常藤、溝口、戸町、藤原、久保田、木村、西田、諸石、轟（報告：西田）